

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	時任 康文
主な担当科目	指揮法Ⅱ①,指揮法Ⅱ②,博士研究指導,指揮
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	音楽の専門的な知識を学修し、身に付け、音楽の面白さや難しさを指揮者という立場で学生と共に研究する。そのためには一方的に教えるのではなく、学生の立場や環境を考え一人一人状況を見極めながら進めることが重要。上手く学生たちの意見を引き出しながら教育の質を更に高めていきたいと思う。
2024年の教育に関する自己評価	多様な学生の対応は大変難しいが、しっかりと個々の学生たちと会話をし、学生本人の求めることを理解することにより、前向きな教育ができたと思う。これからも、もっと多様な学生が在籍してくると思うので、教える立場の教員が心を開き、真摯に学生と向き合っていかなければならない。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD活動に積極的に参加し発言するように努めた。FD活動の意義を考えて更に教育現場として色んな要素を取り入れ、前向きに思考を働かせられたと思う。
授業改善のために取り入れた研修内容	各部会FDの研修内容として留学生を含む多様な生徒に対する対応のご意見は大変授業改善として参考になった。メンタルの弱い学生等には更にコミュニケーションを取り学修意欲を上げていくように指導していきたい。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3361 教員名:時任康文

1)アンケート結果に対する所見

授業をどの方向性で進めて行くのか。など先生方との打ち合わせが必要だと感じた。また、留学生に対しての時間の使い方など、客観的に見るとやはり気になる学生もいるとのこと、今後は更に考慮すべきことだと思う。

2)要望への対応・改善方策

まずは先生方の考えと学生の考えをちゃんと話し合うこと。どのように導きたいのか、どのように導いて欲しいのか。ここは正確に把握して授業を進めるべきだと思う。留学生に関しては先ずはどのレベルで入学させるのかが、問題かと思う。特に大学院は全く違う環境で学んできたので、そのレベルの統一を入学後にできるだけ迅速に、また留学生にもそれを伝えてできるだけレベルの均一化をはかるようにしたい。

3)今後の課題

今後、留学生が増えると思われる。その対応をしっかりとしないと、日本人の学生に対してしっかりと時間を取って教えることができなくなる可能性がある。この問題は他大学とも連携を取り、日本の大学としての受け入れ方を考えるべきではないかと思う。

以 上